



2018年11月29日

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
TC協会会員各位

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
代表理事 山崎 敏正

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会
会員登録のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃は当協会の活動にさまざまなご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
さて、2018年からスタートした使用情報における解析取り組み検討WGは、外部から有識者を招へいして知見修得をしやすくするために、製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会として再スタートすることになりました。
TC関係者が求める解析技術の運用を、Webサイトを中心とする製品・サポート情報に適用する技術を可及的速やかに実用水準に近づけるべく、企業の枠を超えて協同研究・検討を進めます。
つきましては、下記要領にて皆様から製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会員を募集いたします。ご多忙中、恐縮ではございますが、主旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。 敬具

記

■登録いただく実務技術研究会員(活動メンバーを指す)
製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会

■実務技術研究会員の任期
2019年1月～2019年12月を予定

■実務技術研究会員の役割
情報の3循環「つくる・つたえる・つかう」において、PDCAサイクルを実現する要になるのが解析技術です。本WGでは、Web業界およびマーケティング業界で普及している解析技術のTC分野における実践的活用方法について議論します。
特に、所属企業が知財に関する権利を保有する解析対象データを取り扱う担当様の参加を求めています。

■実務技術研究会の開催頻度
定例は隔月開催で年6回程度(第1回WG開催時に年間の予定を決める予定)です。
ケーススタディ、TCシンポジウム発表準備などのため、一部有志による追加活動も予定します。

■概略日程

- 前期(1月～6月)
 - ・TC分野における実践的活用方法についての検討
 - ・解析取り組みの稟議書作成に必要な知識をまとめた解析ハンドブック(仮称)の作成
 - ・有識者を交えたワークショップの開催
- 後期(7月～12月)
 - ・TC分野における実践的活用方法についての検討とTCシンポジウムでの発表準備と実施

■申し込み締切日

別紙の登録用紙に必要事項を記入し、12月21日(金)までにFAX(03-3368-5087)またはメール添付(tc-info@jtca.org)にてTC協会事務局までご連絡ください。

■2019年第1回 製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会開催日(開催場所は後日連絡)
第1回の製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会を2019年1月17日午前にて開催します。
以上

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会



2018年 月 日

TC 協会事務局 行(FAX:03-3368-5087)
またはメール(tc-info@jtca.org)にてご連絡ください。

製品・サポート情報における解析取り組み 実務技術研究会員登録用紙

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会員として、次のメンバーを登録いたします。

| | |
|--------|---|
| 会員番号 | |
| 登録者氏名 | |
| 会社名 | |
| 部署名 | |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 | |
| FAX番号 | |
| E-Mail | |

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 4-22-15
tel.03-3368-4607 fax.03-3368-5087
web:www.jtca.org